

令和5年度第1回総合型地域スポーツクラブ専門委員会議事要旨

日時	令和5年7月7日（金）午後2時から午後3時30分
場所	県民総合運動公園陸上競技場1階102会議室
出席者	水野修身、吉田勝彦、山口 清、立木宏樹、有働秀樹、松田直浩 西村浩二、太田黒尚子
会 議 内 容	
<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ（水野委員長）</p> <p>3 議長選出（水野委員長）</p> <p>4 内 容</p> <p>（1）委員の交代について（資料P1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から、熊本市スポーツ振興課の松田参事が委員として就任する旨説明。 ・松田参事及び各委員の自己紹介。 <p>（2）令和4年度事業報告及び決算について（資料P2～10）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から、令和4年度の事業報告及び決算報告について説明。 <p>（3）令和5年度事業計画及び予算について（資料P11～16）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から、令和5年度事業計画について、変更点や日本スポーツ協会の委託事業について実施内容の説明。 <p>（4）令和5年度及び令和6年度登録手続きについて（資料P17～21）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から、令和5年度及び令和6年度の登録手続き及びスケジュールについて説明。 <p>（5）登録制度運用に係る本県独自基準について（資料P22）</p> <p>（6）熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会（SCS火の国クラブネット）について（資料P23～25）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から（5）（6）は一括して説明。 ・熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の加入を条件とするべきか意見聴取。 <p>—意見—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（水野委員長）協議会も任意、登録も任意という形ではあるが、登録を増やしていく方向を考えると条件がないとなかなか増えないのではないかと。 ・（立木委員）熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の実態はあるのか。あった場合、クラブにとってその存在が必要なのか。体制について、そもそもわかりづらい。 ・（有働委員）熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会に加入するメリットや加入しないデメリットはあるのか。 ・（山口委員）協議会に加入しているクラブが58、全国登録クラブが40となっているが、協議会に加入していても登録をしないクラブもあるのが現状。 <p>—結果—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結論はでなかった。登録基準については第2回専門委員会にて再度提示する。 <p>6 意見交換</p> <p>（1）総合型地域スポーツクラブの育成・支援について（資料P26）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内クラブ及び準備団体や総合型クラブを辞退するクラブについて説明。 <p>—意見聴取—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（水野委員長）バドミントンは、小学校運動部活動の社会体育移行後、3000人いた競技人口が1000人に減少した。今後進められる中学校部活動の受け皿については、競技団体が行政や県スポーツ協会とも連携して整備をしていかなければ難しい。 ・（吉田副委員長）中学校部活動の受け皿として総合型クラブが期待されているが、絶対数が少なく、参加したい児童が受け皿不足であふれるのではないかと懸念がある。 	

- ・（立木委員）熊本学園大学でも学生の活用を検討している。令和6年度から地域スポーツ実施演習として学生が地域スポーツで活動することを単位にする動きがあるが、具体的にどうなるかは今後決まっていく。活動の場として、総合型クラブに相談するという流れもありえる。現時点で、個人的に地元等にすぽ一つ指導者として出向いている学生がいるが、保護者とのやり取り等も起こっている。大学として責任もって地域に出すには検討すべき課題がある。
- ・（有働委員）中学校部活動の受け皿として、県教育委員会としては、総合型クラブへの期待が高い。どのような形が各地域で望ましいか、様々な機会を捉えて意見聴取し、今後につなげていきたい。
- ・（松田委員）熊本市は中学校部活動を残す方向で検討を進めているため、受け皿として総合型クラブにという話し合いにすぐなる状況ではない。ただ、富合のようにクラブが活発に学校との連携を図っているような地域においては、部活動をクラブに移行する可能性がある。
- ・（太田黒）中学校部活動については、指導者不足が課題として挙げられるが、継続的な仕組みにするためには指導者らを統括する機能が必要であり、マネジメントが求められるため、総合型クラブがその機能と立場を担えるのではないかと感じる。指導者不足については、競技団体との連携を促進することで解決していくような機会を創出できると考えるため、県スポーツ協会としてできることを考えていきたい。

7 閉 会

